

放牧指導者等育成のための研修会（オンライン方式）開催要領

テーマ：「放牧を知ろう！始めよう！」

1. 趣旨

放牧は、耕作放棄地の解消、景観の保全等への貢献度が高いほか、飼料費や飼養管理時間が削減されるなど生産コストの低減効果が大きく、飼料基盤に立脚した循環型畜産を実現する手段として注目されている技術である。

また、高齢化の進展、担い手や後継者不足が進む畜産の生産現場では、労働軽減が期待される放牧への関心がますます高まっている。

実際に、畜産農家が放牧を実践しようとする場合には、放牧地の適正管理、電気牧柵の利用、牛道や飲水場の設置、庇陰場所の確保、放牧牛の訓致などの放牧に関する知識を身につけておくことが必要であるが、畜産農家が放牧に取り組もうとしても、身近に指導者や相談できる者が少ないという声が広がっている。

このようなことから、環境負荷の低減や飼料コストの低減につながる放牧をより一層推進し、農業の持続的な発展を図るため、普及関係機関や農業団体など現場支援に関わる方々や新たに放牧を始めようと考えている生産者等を対象に、放牧に係る基礎的な知識を身につけていただくことを目的として研修会を開催する。

2. 主 催：一般社団法人日本草地畜産種子協会

3. 参集範囲：生産者、農協、農協連、市町村、都道府県、関係機関団体など

4. 開催日時：令和8年12月7日（月）13:30 から 15:40

5. 開催内容：

（1）開会・挨拶

13:30-13:35

（2）講演

ア 放牧経営の経営的優位性と持続性

13:35-14:05(30分)

一般社団法人日本草地畜産種子協会

放牧アドバイザー

すどう じゅんいち
須藤 純一 氏

〈要旨〉放牧を実践している先進的な事例を交えながら、酪農経営における放牧の意義や経済的優位性などについて解説する

イ はじめての放牧酪農

14:05-14:35(30分)

一般社団法人日本草地畜産種子協会

放牧アドバイザー

とがむら やすこ
梅村 恭子 氏

〈要旨〉放牧酪農に必要な基礎知識について解説するとともに、新規参入や転換事例について、放牧を導入した経緯や取組内容を紹介する

ウ はじめての肉用牛放牧

14:35-15:05(30 分)

一般社団法人日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー

やまもと よしと
山本 嘉人 氏

〈要旨〉肉用牛放牧に必要な基礎知識について解説するとともに、新規参入事例について、放牧を導入した経緯や取組内容を紹介する

(3) 事例紹介

○ 新規就農による持続的な放牧酪農の実践

15:05-15:35(30 分)

北海道別海町

ちかつ よしたか
近津 義尊 氏

〈要旨〉「シンプルな生産方式」を経営方針として、新規就農を機に開始した家族経営による持続可能な放牧酪農の取り組みを紹介する

(4) 閉会

15:40

6. 参 加 料：無料。ただし、インターネットに接続できるパソコン又はモバイルデバイス（内蔵スピーカー、又は外付けイヤホン等）は参加者にてご用意願います。

7. 視聴方法：Zoomにて実施いたしますので、Zoomに接続できる環境をご準備下さい。なお、後日、マイナビ農業から参加予定者に向けて視聴方法のご案内を行う予定です。

8. 参加申し込み方法：

(1) マイナビ農業サイトからお申し込みください。

(URL：https://agri.mynavi.jp/2026_10_19_600372/)

申込期間：令和8年10月19日(月)から令和8年12月3日(木) 15:00 まで

(2) 参加予定枠：300名程度



9 問い合わせ先

(1) Web 研修会の実施内容に関すること

一般社団法人日本草地畜産種子協会 草地畜産部 担当：磯前、塚田

(TEL : 03-3251-6501

E-mail: s-isomae137@souti-fsa.or.jp、y-tsukada138@souti-fsa.or.jp)

(2) Web 研修会への参加方法及びWebサポートに関すること

株式会社マイナビ 農業活性事業部 担当：谷藤、諸富

(TEL : 070-4847-3357 E-mail: agri-webcast@mynavi.jp)